

中村橋の完成について

～ 大正 15 年当時の旧橋の親柱を再利用して架け替えた橋 ～

中村橋は、南区の堀割川に架かる橋梁で、旧橋は、関東大震災の復興橋梁として、大正 15 年に建設されました。車道は 3 車線ありましたが、歩道はなく、隣接していた水管橋の上を幅員 2 m の人道橋として利用していました。

その後、年月の経過とともに老朽化が著しくなったため、平成 14 年度から架け替え工事を進めてまいりましたが、橋りょう本体の工事が 6 月上旬に完成する予定です。

新橋は、幅員 9.75 m の 3 車線の車道と、両側に幅員 4.0 m のセミフラット型の歩道を設置し、利用者の安全性の確保とバリアフリー化を図りました。

また、旧橋には完成当時の御影石の親柱がそのまま残されていたので、当時の面影を残すために、この親柱を新橋に再利用いたしました。

新しい橋につきましても、引き続き地域に親しまれ、これからの長い年月にわたり利用していただけたらと思います。

親 柱

《概 要》

路線名（橋梁名）	市道中村山手線（中村橋）
場 所	南区中村町から睦町まで
橋 長	30.0 m
幅 員	旧橋 9.74 m 新橋 19.05 m
事業費	約 1.3 億円
工事期間	平成 14 年度から平成 19 年度



旧 橋



新 橋



案内図

